

第2 情報政策の概要

岡山市においては、情報化社会に対応するため、数次の情報化指針の策定・実施を積み重ねており、現在は、「岡山市情報化指針（2017～2021）」が策定されている。

同指針においては、「情報化推進による地域活性化」「行政サービスの利便性向上」「情報ガバナンスの更なる充実」などを主要なテーマとして掲げている。同指針は岡山市の基本方針ともいふべき第六次総合計画の支援を行う位置づけとなっている。以下、「岡山市情報化指針（2017～2021）」についての内容を概観する。また情報政策に係る職員及び経費の概要も併せて報告する。

1 岡山市情報化指針（2017～2021）の概要

（1）策定の趣旨

岡山市においては、情報政策を総合的に推進するため、「岡山市情報化に関する方針（2015～2016）」を策定し、この方針に沿って全庁的な情報化やICT（情報通信技術）の利活用を推進してきた。

この間、新たなサービスや技術の活用が急速に進み、ICTは今後目的から課題解決の手段として一層の利活用が進んでいくことが見込まれる。このため、計画的な情報化の推進を図り、今後の基本的な方向性と重点的な課題を示すものとして「岡山市情報化指針（2017～2021）」が策定された。

また、官民データ活用推進基本法に基づき、官民データの利用環境の整備促進により、事務負担の軽減、地域課題の解決、住民及び事業者の利便性向上等を図るため、官民データ活用推進計画の内容を盛り込む要請から、2019年3月に「岡山市情報化指針（2017～2021）」は改定されている。

（2）位置づけ

・「岡山市情報化に関する方針（2015～2016）」を継承しつつ、社会経済環境の変化や技術動向を踏まえ、国の情報化施策や岡山市第六次計画との整合性を図りながら、岡山市が目指すまちづくりをICTの側面から支援するものとなっている。

・岡山市が進めるべき情報化施策の「目標」、 「基本方針」を

示すとともに岡山市官民データ活用推進計画として位置づけ、官民データ活用の推進に関する施策の基本的な方針を定め、優先順位の高い重要課題から実行計画（アクションプラン）を策定し、推進していくものとなっている。

（３）期間

平成２９年度（２０１７年度）から平成３３年度（２０２１年度）までの五か年と設定されている。

（４）目標と基本方針

ア 目標

①情報化推進による地域活性化

ICTを活用して魅力と活力あふれるまちづくりを目指す。

②行政サービスの利便性向上

ICTを活用して情報発信力の向上、便利さが実感できる行政サービスの提供を目指す。

③情報ガバナンスのさらなる充実

業務プロセスやシステム構成などを見直し、投資効率の高い情報システムの構築を推進する。

イ 基本方針

①情報化推進による地域活性化

・魅力と活力あるまちづくり

ウェブサイトの情報発信力強化、オープンデータ・スマホアプリの公開、無料公衆無線LANの検討、電子町内会への加入促進など。

・安全・安心なまちづくり

モバイル端末活用と情報通信の高度化による地域防災力の強化、迅速・的確な消防緊急体制の構築など。

②行政サービスの利便性向上

・ICTを活用した業務の効率化・高度化

ペーパーレスによる業務効率化、働き方改革を推進する新技術の活用、図書館システムの高度化、校務情報化推進による教職員の負担軽減支援など。

・ウェブサイトの利便性向上

ウェブアクセシビリティの向上とソーシャルメディア等との連携など。

③情報ガバナンスの更なる充実

・情報システム最適化の推進

経費適正化，業務継続計画の推進，情報セキュリティー対策の強化など。

(5) アクションプラン

各目標・基本方針を達成するためにアクションプランを策定し，推進している。アクションプランは，国等の動向や新たな技術・ツールについて，積極的に情報収集・研究しながら，PDCAサイクルを確立したうえで有効性を検証し，適宜，追加・見直しを図っている。

2 情報政策に関する職員及び経費

(1) 岡山市における情報政策に関する職員についての概要

ア 岡山市においては，総務局に情報システム課とICT推進課を設けている。

情報システム課は，庁内ネットワーク及び業務システムの整備・運用管理を，ICT推進課は，情報政策の企画・総合調整，地域情報化，情報システムの効率化・最適化などを業務内容としている。

以下，情報システム課及びICT推進課をあわせて「情報二課」と呼ぶ。

イ 情報二課の人員構成

情報二課における職員の人員数，年齢別及び各課に配置された累積年数（就任累積年数）の構成は以下の通りとなっている。年齢別の人員構成をみると，40歳から50歳未満までの人数が充実している。

また，累積年数別の人員構成をみると，就任4年未満の職員数が大部分を占める結果となっているのが特徴である。

(情報二課の人員構成)

課名	課長	課長補佐	主査	副主査	主任	主事	参事監	副主幹	計
情報システム課	1	2	1	6	1	4	0	0	15
ICT推進課	1	1	2	2	3	3	1	1	14
計	2	3	3	8	4	7	1	1	29

(情報二課の年齢別の構成)

	情報システム課	ICT推進課	計
60歳～	0	2	2
55～60歳未満	1	1	2
50～55歳未満	2	0	2
45～50歳未満	6	3	9
40～45歳未満	2	3	5
35～40歳未満	0	1	1
30～35歳未満	3	2	5
25～30歳未満	1	2	3
21～25歳未満	0	0	0
計	15	14	29

(情報二課の就任累積年別の構成)

	情報システム課	ICT推進課	計
10年以上	1	2	3
9～10年未満	0	1	1
8～9年未満	0	1	1
7～8年未満	2	0	2
6～7年未満	1	0	1
5～6年未満	0	0	
4～5年未満	1	0	1
3～4年未満	1	1	2
2～3年未満	2	3	5
1～2年未満	2	3	5
1年未満	5	3	8
計	15	14	29

(2) 岡山市における情報二課の経費の推移

岡山市における情報二課の経費（決算ベース）の推移は以下

のとおりである。また平成26年度を「100」として岡山市の全体の歳出と指数の変遷を用いて比較している。

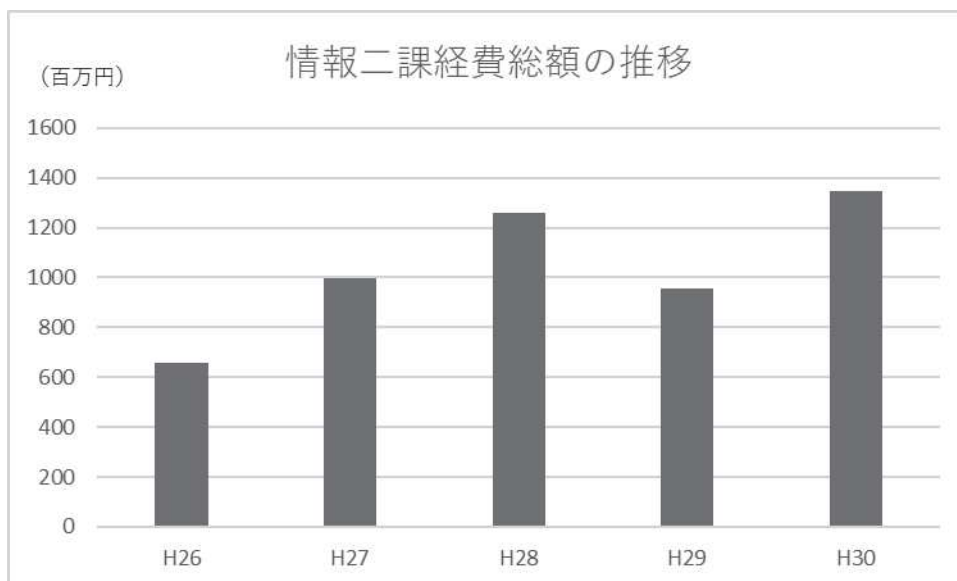
情報二課の経費は、概ね年々増加傾向にある。岡山市の全体の歳出に比べても増加の割合は大きく、情報システム管理に人員が必要となっており、市における情報システムの重要性が増していることがうかがわれる。

(情報二課の決算ベースの経費の推移(内訳))

(単位:千円)

		機器購入費	レンタル・リース	回線使用料	機器・ソフトの保守料	派遣要員 人件費	委託費	安全対策費	各種研修費用	その他	合計
情報システム課	H26	0	12,221	48,232	0	0	307,833	50,211	0	55,910	474,409
	H27	0	152,588	120,902	0	0	479,123	60,868	1,432	64,544	879,460
	H28	0	174,634	122,191	1,021	0	480,384	66,316	2,063	84,777	931,389
	H29	0	162,921	122,664	1,775	0	371,980	68,211	2,462	78,395	808,411
	H30	0	161,140	122,827	1,775	0	668,134	75,079	1,820	97,977	1,131,754
ICT推進課	H26	46,187	5,106	5,240	0	0	92,461	0	0	36,327	185,324
	H27	9,164	3,812	4,785	306	0	62,996	0	0	44,814	117,631
	H28	151,964	2,381	4,796	0	0	113,848	0	0	53,975	326,966
	H29	6,793	1,748	4,796	28,675	0	81,630	0	0	22,189	145,834
	H30	12,342	1,837	4,401	30,154	0	143,769	0	0	22,402	214,908
情報二課合計	H26	46,187	17,328	53,473	0	0	400,295	50,211	0	92,237	659,733
	H27	916	156,400	125,688	306	0	542,119	60,868	1,432	109,359	997,092
	H28	151,964	177,016	126,988	1,021	0	594,233	66,316	2,063	138,753	1,258,356
	H29	6,793	164,670	127,461	30,450	0	453,611	68,211	2,462	100,585	954,246
	H30	12,342	165,977	127,228	31,930	0	811,904	75,079	1,820	120,380	1,346,663

(情報二課の経費(決算ベース)総額の推移)

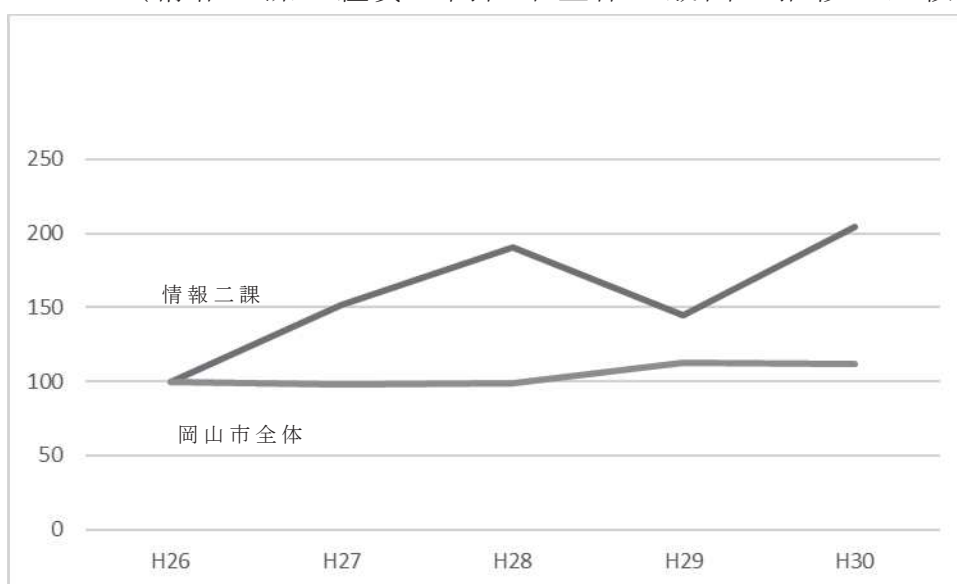


(岡山市全体の歳出(普通会計決算ベース)の推移)

(百万円)

H26	H27	H28	H29	H30
282,819	277,861	278,931	318,358	316,969

(情報二課の経費と岡山市全体の歳出の推移の比較(指数))



(3) 岡山市における情報システム関連経費の推移

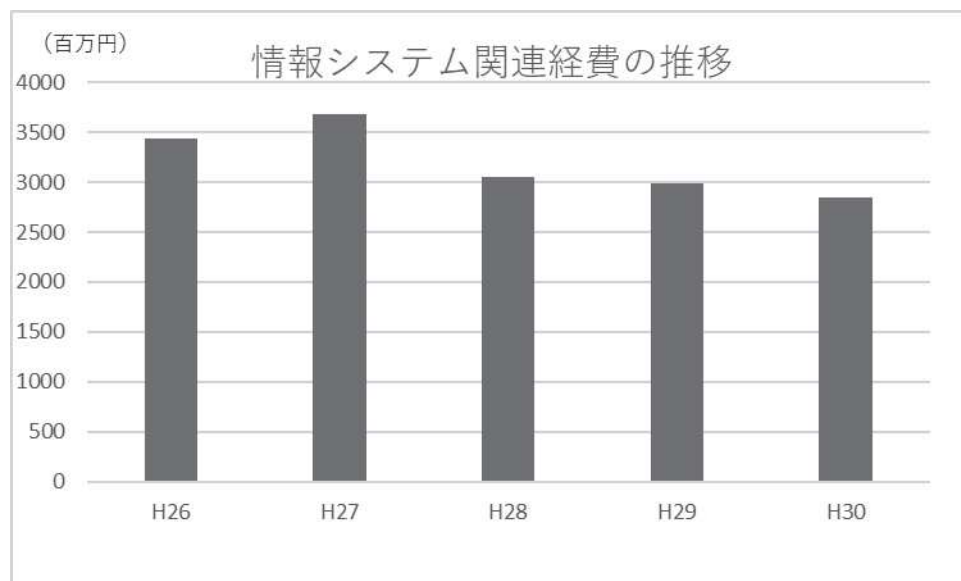
以下は、情報システム管理台帳記載の経費（決算ベース）を集計し、経費総額の推移を示したものである。また平成26年度を「100」として岡山市の全体の歳出と指数の変遷を用いて比較している。なお、特別会計や企業会計全体の歳入・歳出の規模は相当程度に大きいですが、一方で必ずしも情報システムの経費率が高いわけではなく、また、台帳記載システムの管理は情報二課で行われていることから、特別会計等も含めた総額を「情報システム関連経費」として検討することとした。

情報システム関連経費は、岡山市全体の歳出は増加傾向にあるにもかかわらず、年々微減傾向にある。汎用機が全て一般的なシステムに置き換え終わり、一定のシステムの最適化が完了したことに由来するものであると考えられる。

(岡山市における情報システム関連経費の推移)

	(百万円)				
	H26	H27	H28	H29	H30
総額	3,898	4,515	3,646	3,397	3,376
一般会計	3,433	3,679	3,059	2,990	2,847

(岡山市における情報システム関連経費（決算ベース）の推移)



(情報システム関連経費と岡山市全体の歳出の比較 (指数))

